



王子ホールディングス株式会社

2013年3月期 決算説明会資料

2013年5月22日(水)



スマイルジャパン（女子アイスホッケー） 王子ネピア協賛



王子エフテックス 滋賀工場

領域をこえ 未来へ

OJI

I.2012年度決算概要、2013年度業績予想

1. 2012年度 業界需要動向	1
2. 主要製品価格推移	2
3. 主要原燃料価格の推移	3
4. 2012年度 連結業績概要	4
5. 主要製品品種別売上実績	5
6. 連結営業利益増減益内訳（2011年度 対 2012年度）	6
7. セグメント別売上・営業利益（2012年度実績）	7
8. 2013年度 連結業績予想	8
9. 連結営業利益増減益内訳（2012年度 対 2013年度予想）	9
10.セグメント別売上・営業利益（2013年度予想）	10

II.経営戦略

1.事業構造転換	11
2.事業構造転換の施策①	12
3.事業構造転換の施策②	13
4.事業構造転換の施策③	14
5.事業構造転換の施策④	15
6.投資戦略	16
7.経営目標	17

《参考資料》

連結営業利益推移	18
連結有利子負債残高推移	19
連結設備投融資・減価償却費推移	20
連結就業人員推移	21



I .2012年度決算概要 2013年度業績予想

1. 2012年度 業界需要動向



(単位:千t)

	国内出荷高		輸入紙(通関) ※1		合計	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
段ボール原紙	8,509	97.9%	125	116.4%	8,635	98.2%
紙器用板紙	1,574	95.4%	242	110.3%	1,816	97.2%
その他の板紙	642	99.3%	30	113.5%	671	99.9%
板紙計	10,725	97.6%	397	112.4%	11,122	98.1%
衛生用紙	1,757	99.6%	117	114.7% ※2	1,874	100.4%
包装用紙	754	93.9%	14	123.1%	768	94.3%
新聞用紙	3,240	100.7%	50	49.1%	3,289	99.1%
印刷・情報用紙	7,866	95.8%	1,519	84.1%	9,385	93.7%
雑種紙他	714	97.7%	21	104.7%	735	97.9%
紙計	14,331	97.3%	1,721	84.3%	16,052	95.7%
板紙・紙計	25,056	97.4%	2,118	88.5%	27,174	96.7%

(単位:百万㎡)

段ボール ※3	13,206	99.9%
----------------	---------------	--------------

出典:「日本製紙連合会 紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「全国段ボール工業組合連合会 段ボール生産量」

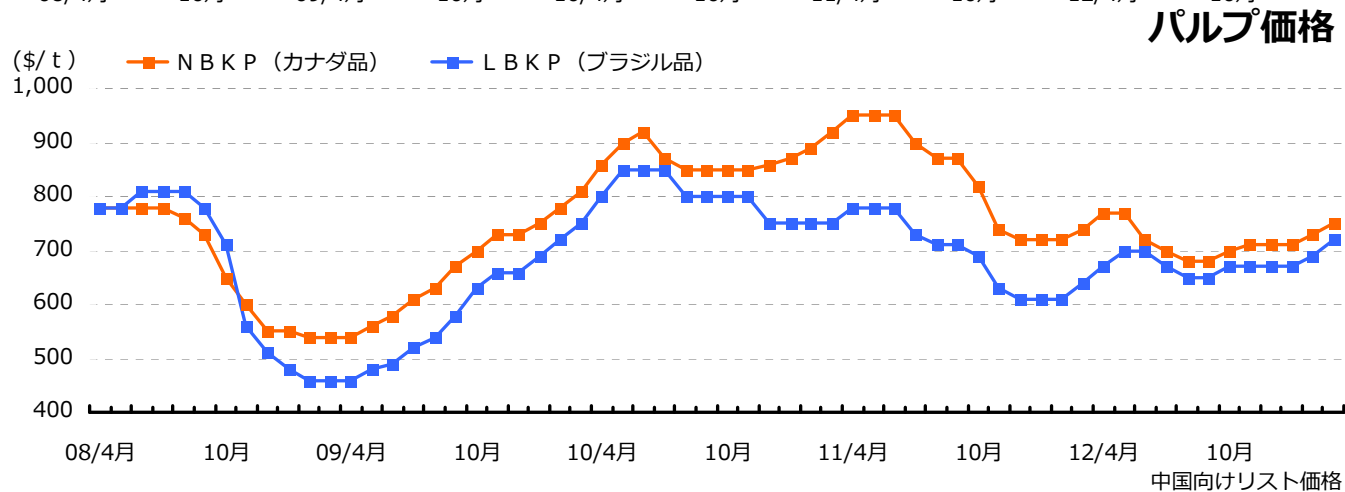
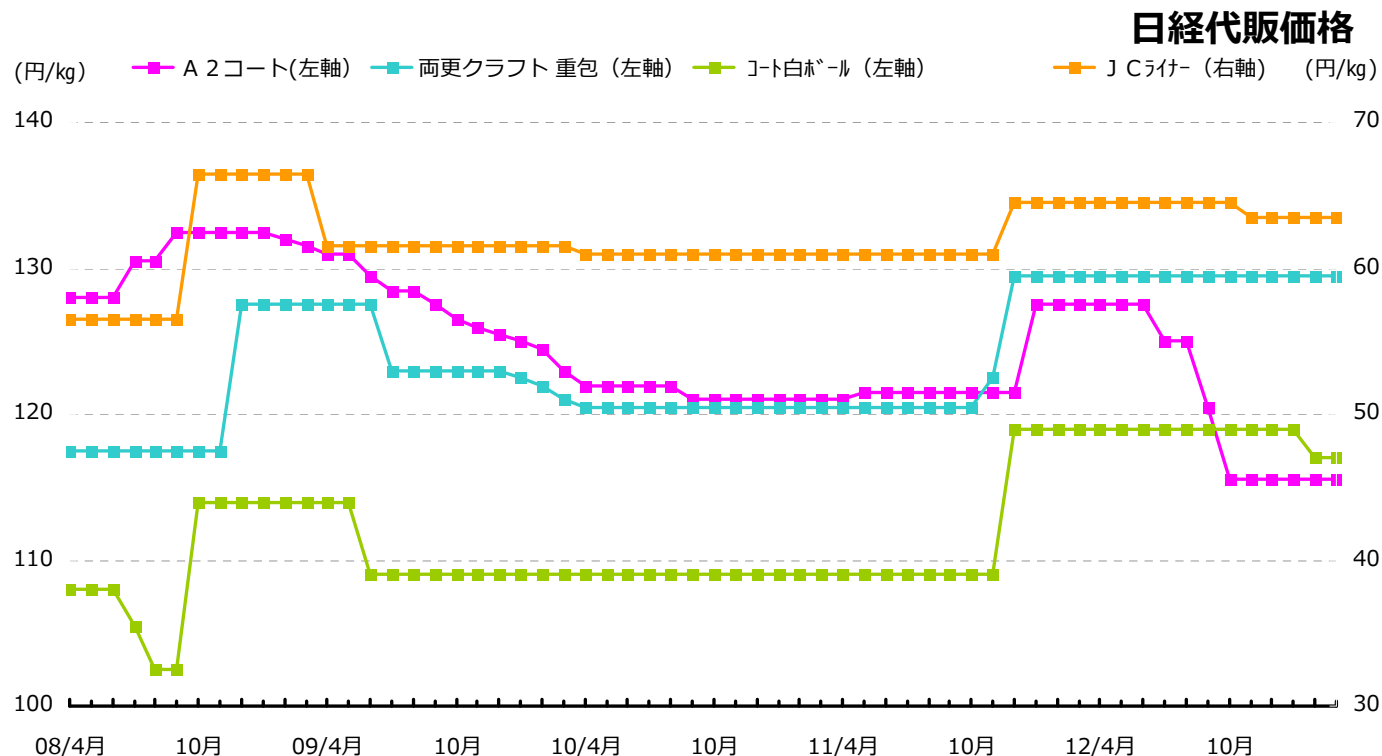
※ 1: 輸入紙(通関)の実績は2012年4月~2013年3月(速報)の実績

※ 2: 衛生用紙の輸入紙(通関)に二次製品(加工品)を含む

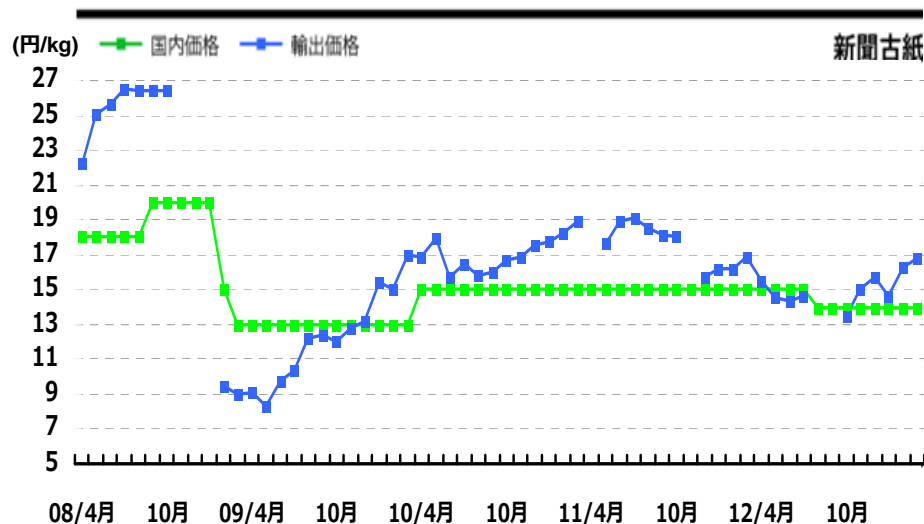
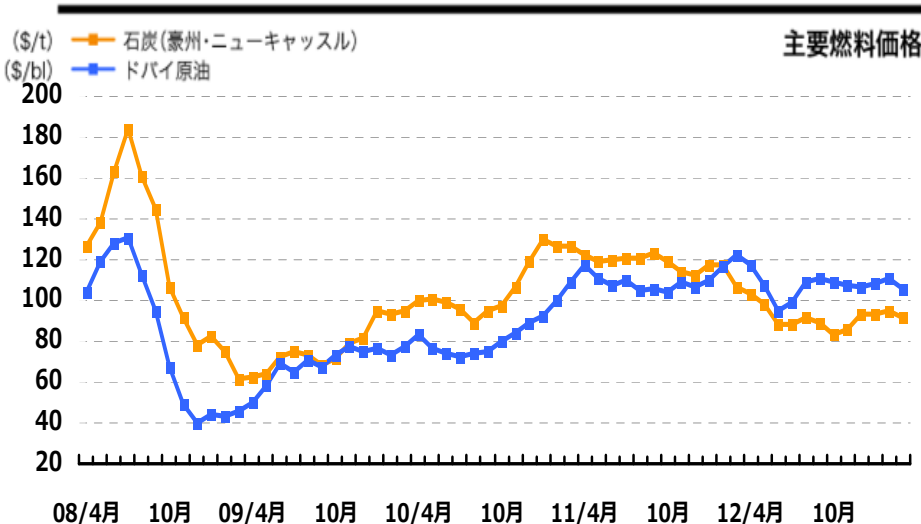
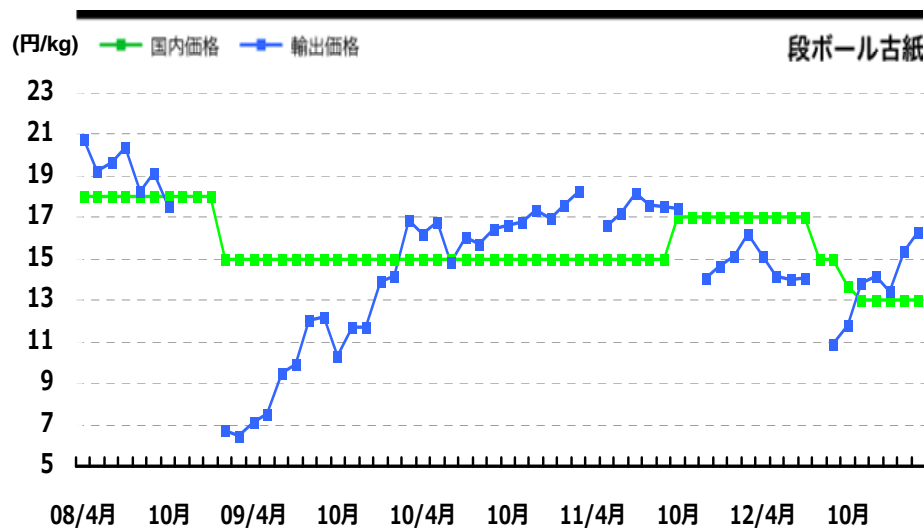
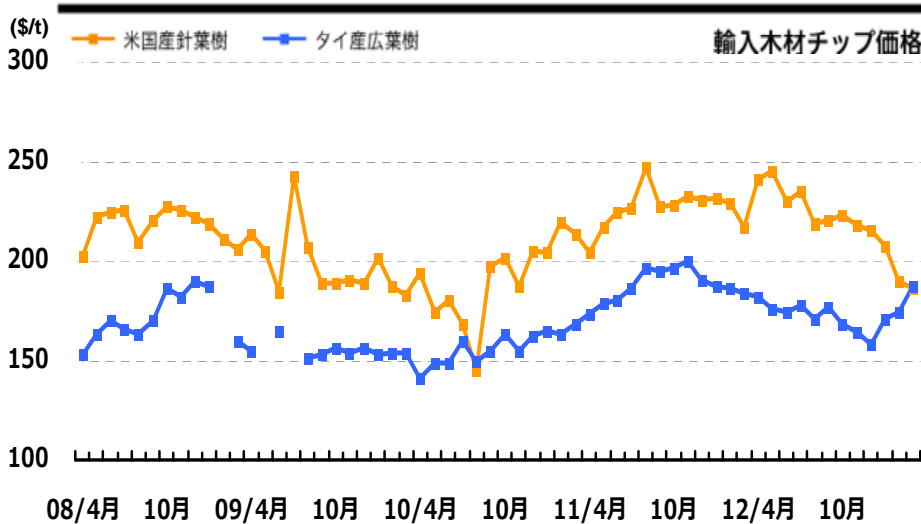
※ 3: 段ボールの数量は生産量(貼合されたシートの総量)



2. 主要製品価格推移



3. 主要原燃料価格の推移



4. 2012年度 連結業績概要



(単位: 億円)

	2011年度	2012年度	増減
売上高	12,129	12,415	286
営業利益	538	524	▲ 14
経常利益	484	546	62
当期純利益	222	256	34
減価償却費	760	721	▲ 39
為替レート(円/US\$)	79.1	83.1	4.0
海外売上高比率	10.6%	16.7%	6.1%
連結子会社			
国内	80社	86社	+ 6社
海外	48社	70社	+ 22社
合計	128社	156社	+ 28社

日伯紙パルプ資源開発㈱およびセニブラ社関連 +6社 [ブラジルのパルプ生産会社、株式追加取得に伴う連結子会社化]、
 海外植林会社関連 +13社 [オーストラリア・ニュージーランド・ベトナム・中国・ラオス・カンボジア、重要性増加による連結子会社化]、
 Oji JK Packaging +2社 [インド段ボール事業、新規設立]、S.Pack関連 +2社 [タイ パッケージング事業、株式追加取得に伴う連結子会社化]、
 ホールディングス化 +5社 [新規設立]、他

他に持分法適用会社 17社 (国内 11社、海外 6社)

5. 主要製品品種別売上実績

	2011年度			2012年度			増減			
	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	対前期比	販売単価	販売金額
	千t	円/kg	億円	千t	円/kg	億円	千t	%	円/kg	億円
板紙計	3,075	66.47	2,044	2,880	66.38	1,912	▲ 194	93.7%	▲ 0.09	▲ 132
家庭紙	213	209.22	445	206	210.06	432	▲ 7	96.7%	0.84	▲ 13
包装用紙	276	102.73	284	276	102.97	284	0	99.9%	0.23	0
一般洋紙	2,832	111.41	3,155	2,650	109.71	2,907	▲ 182	93.6%	▲ 1.70	▲ 248
特殊紙他	232	220.75	513	222	219.81	487	▲ 11	95.4%	▲ 0.94	▲ 25
紙計	3,554	123.74	4,397	3,353	122.59	4,111	▲ 200	94.4%	▲ 1.15	▲ 286
板紙・紙計	6,628	97.17	6,441	6,234	96.61	6,023	▲ 395	94.0%	▲ 0.56	▲ 418

(注) 連結グループ内生産会社の合算値であり、グループ内消費を含む。

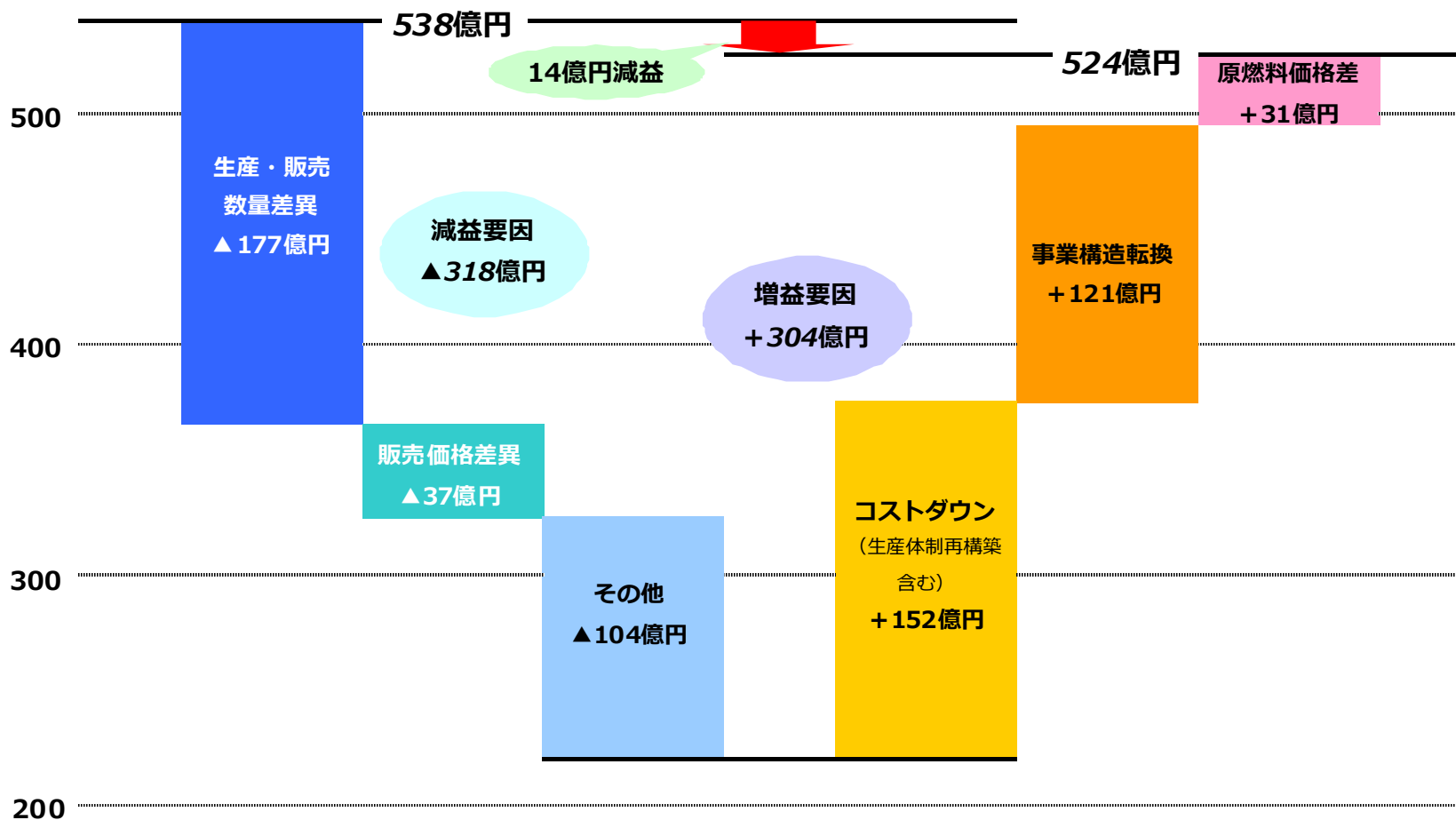
段ボール	2,097	2,127	30
------	-------	-------	----

(注) 外部売上高

6. 連結営業利益増減益内訳 (2011年度 対 2022年度)

(2011年度 対 2012年度)

2011年度 538億円 → 2012年度 524億円 (▲14億円)



7. セグメント別売上・営業利益(2012年度実績)

(単位:億円)

	2011年度		2012年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	5,411	272	5,409	273	▲ 2	1
印刷情報メディア	3,396	38	3,261	▲ 24	▲ 135	▲ 62
機能材	1,835	89	1,973	102	138	13
資源環境ビジネス	807	31	1,308	102	501	71
その他・調整額	680	108	464	71	▲ 216	▲ 37
連結合計	12,129	538	12,415	524	286	▲ 14

(注) 売上高にはセグメント間売上を含む。

8. 2013年度 連結業績予想

(単位:億円)

	2012年度	2013年度予想	増減
売上高	12,415	13,400	985
営業利益	524	630	106
経常利益	546	580	34
当期純利益	256	300	44
減価償却費	721	721	0
為替レート(円/USドル)	83.1	100.0	16.9
海外売上高比率	16.7%	19.7%	3.0%

2013年度予想前提条件

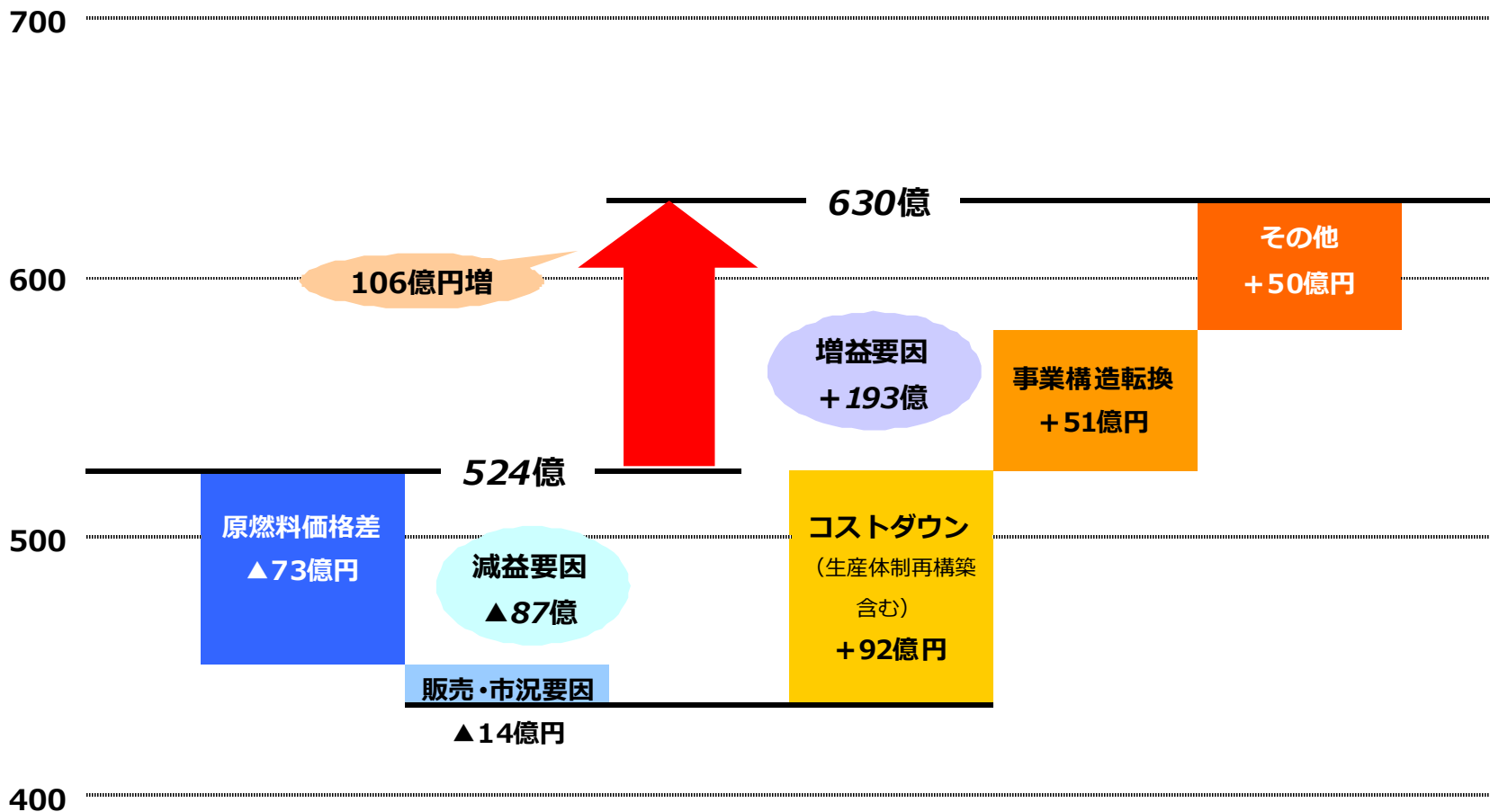
<ul style="list-style-type: none"> ・原燃料価格 	{	<ul style="list-style-type: none"> チップ: 現行契約ベース 古紙: 現行価格レベル横這い 石炭: 現行契約ベース 	}	<ul style="list-style-type: none"> ・変動影響 	{	<ul style="list-style-type: none"> 為替レート: 1円/US\$変動につき±約5億円 (輸出入、海外会社円換算差 他) 古紙価格: 1円/kg変動につき±約40億円 ドバイ原油価格: 1\$/bl変動につき±約5億円 (重油、バンカーオイル、ナフサ関連製品 他) 	}
--	---	---	---	---	---	---	---

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

9. 連結営業利益増減益内訳 (2012年度 対 2013年度予想)

(2012年度 対 2013年度予想)

2012年度 524億円 → 2013年度 630億円(+106億円)



10. セグメント別売上・営業利益(2013年度予想)

(単位:億円)

	2012年度		2013年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	5,409	273	5,700	280	291	7
印刷情報メディア	3,261	▲ 24	3,300	0	39	24
機能材	1,973	102	2,200	140	227	38
資源環境ビジネス	1,308	102	1,600	150	292	48
その他・調整額	464	71	600	60	136	▲11
連結合計	12,415	524	13,400	630	985	106

(注) 売上高にはセグメント間売上を含む。



Ⅱ.経営戦略

1. 事業構造転換



事業構造転換投資実績
(2010年度～2012年度累計) 1,900億円 (完了済み：1,600億円 進行中：300億円)

生活産業資材事業

500億円

紙おむつ事業

大人用テープ型紙おむつ

2013年1月 新工場稼動【王子ネピア 福島工場】

海外事業

2010年4月 マレーシアで板紙メーカーGSPP買収
2011年3月 タイで紙器メーカーS.Pack買収
2011年8月 Harta買収(マレーシア、カンボジア)
2012年10月 インドで段ボール事業会社設立
(※2014年1月 工場稼動予定)

2013年3月 カンボジアで段ボール新工場稼動
2013年5月 ベトナムで段ボール新工場稼動
※2013年7月 中国(青島、武漢)で製袋新工場稼動予定

震災復興事業

※2014年夏 設備増強予定【王子コンテナ 福島工場】

機能材事業

400億円

機能材事業

コンデンサ用薄物フィルム

2013年4月 新設備稼動【王子エフテックス 滋賀工場】

スマートフォン用フィルム・粘着シート

2013年4月 新タック化成で設備増強【豊中工場】

※2013年12月 王子タックで設備増強予定【宇都宮工場】

特殊紙事業

特殊紙設備の増強(剥離紙、耐油包装用紙等)

2013年4月 新設備稼動【王子エフテックス 江別工場】

海外事業

2011年9月 ブラジルで王子パペイス(OPE)買収
(感熱紙事業)

2011年 OLT(タイ)で粘着ラミネーター増設

※2014年3月 OPEで感熱紙設備増強予定

資源環境ビジネス

1,000億円

発電事業

バイオマス発電

※2015年3月 新設備稼動予定【王子マテリア 富士工場】
【王子製紙 日南工場】

水力発電

※2015年11月 増強工事完了予定【千歳・尻別】

太陽光発電

※2013年8月 新設備稼動予定【北海道 白糠町】

バイオリファイナリー事業

フルフルール、DP等

※2014年3月 新設備稼動予定【王子製紙 米子工場】

海外事業

2012年6月 ブラジルでCENIBRA子会社化(パルプ事業)

2012年 PANPAC(ニュージーランド)で

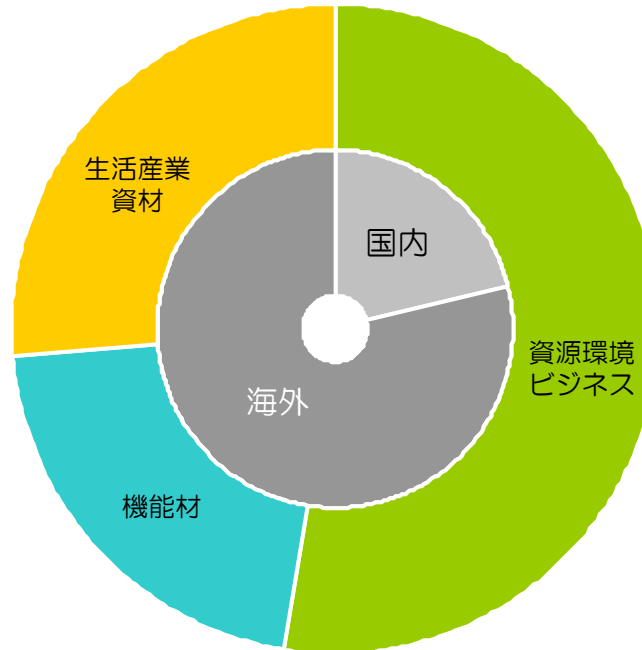
BC-TMP生産設備の稼働開始

2012年10月 ベトナムで合板製造会社設立

商事機能強化

2010年 旭洋紙パルプ子会社化

⇒ 王子通商の紙販売事業を統合一元化



国内： 400億円
海外： 1,500億円

※：進行中案件

2.事業構造転換の施策①



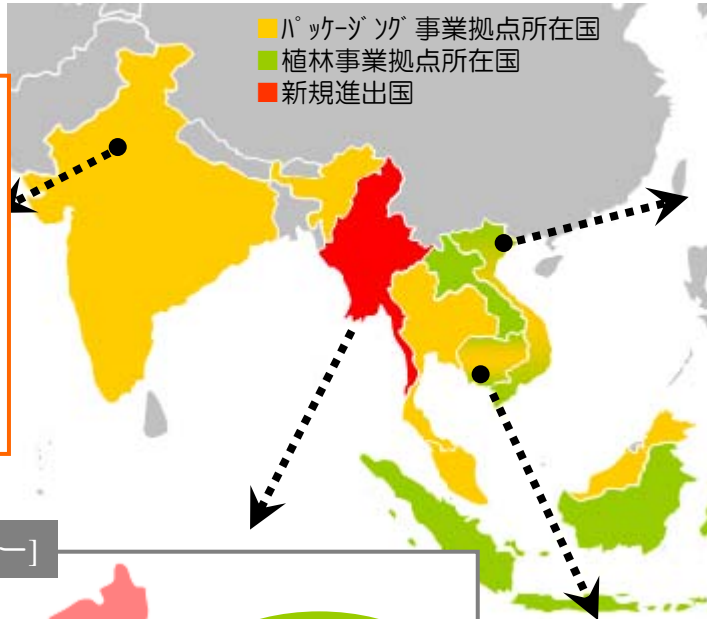
東南アジア・インド地域における事業の拡大・強化

東南アジア・インド地域の段ボール工場数：16（2012年12月末）

進行中案件 [インド]

Oji JK Packaging
〔デリー南西のラジャスタン州〕
ニムラナ工業団地

事業内容 段ボール
生産能力 貼合：48百万㎡/年
製函：44百万㎡/年
営業開始 2014年1月(予定)



新規進出国 [ミャンマー]

検討中内容

製紙事業

段ボール事業

新規植林事業
ゴム・チーク
アカシア他

製材・合板
ゴム加工事業

段ボール工場
建設予定地

〔ヤンゴン市近郊〕
〔ミンガラドン工業団地〕

2013年5月駐在員事務所開設（予定）

2013年稼動の新工場 [ベトナム]

Ojitex第3工場〔バクニン省VSIPバクニン工業団地〕

2013年5月営業開始
事業内容 段ボール、オフセット印刷
生産能力 段ボール貼合：42百万㎡/年
オフセット：検討中



2013年稼動の新工場 [カンボジア]

Ojitex Harta Packaging シハヌークビル工場〔シハヌークビル港工業団地〕

2013年3月営業生産開始
事業内容 段ボール・シート製造
生産能力 貼合：56百万㎡/年
製函：40百万㎡/年



3. 事業構造転換の施策②



生活産業資材事業の国内設備増強

[段ボール事業：王子コンテナー福島工場]

仙台工場のカバー、復興需要の本格化を受け、
建屋拡張・設備増強工事を実施

- 投資内容
- ◆貼合機：月産10百万㎡に増強
 - ◆製函機：月産5百万㎡に増強
 - ◆建屋拡張
 - ◆太陽光パネル設置
- 他

投資額 約65億円
稼働開始 2014年夏（予定）



※「ふくしま産業復興企業立地補助金」指定事業 完成予想図

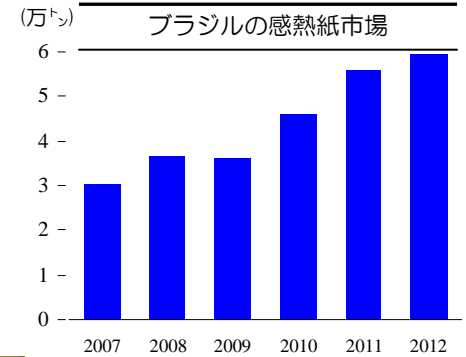
南米における機能材事業の拡大

[王子パペイス]

ブラジルの感熱紙需要増が続く



感熱紙を主力製品とし
増産投資を実施



ドライヤーを増設するPC2コーター

- <第一期>
2014年3月完了予定
工事内容 現有設備の増強
年産能力 5万ト ⇒ 6万2千ト
- <第二期>
検討内容：コーター新設
マシン増速 他

設備改造による生産品種転換

[王子エフテックス江別工場 6MC]
2013年4月特殊紙の営業生産開始

<生産品種>

従 来：印刷情報用紙
転換後：剥離紙、耐油性包装用紙 他

<投資内容>

マルチニップカレンダー設置
薬剤・塗料設備増強 他



剥離紙



耐油紙

4.事業構造転換の施策③

機能材事業の拡大

[スマートフォン用フィルム]

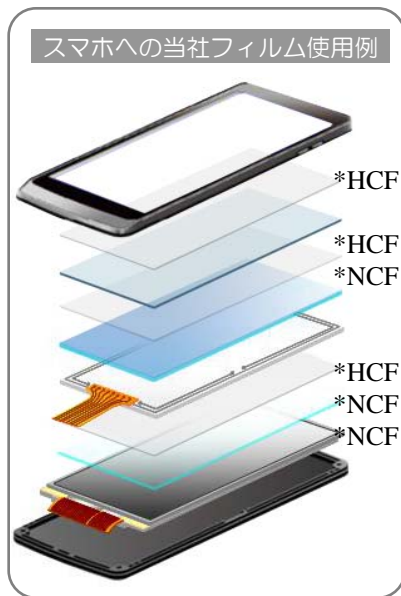
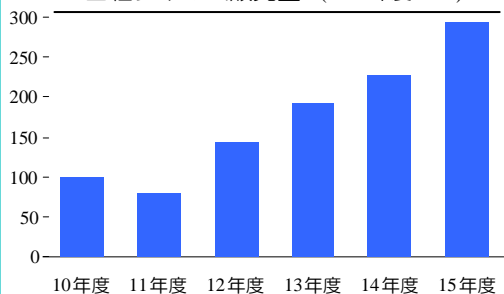
新タック化成 豊中工場 (2013年4月稼働)
 王子タック 宇都宮工場 (2013年12月稼働予定)

粘着フィルム (NCF)
 飛散防止フィルム (HCF) の需要増



設備の更新・増強により
 生産力アップ

当社フィルム販売量 (2010年度=100)



[コンデンサ用薄物フィルム]

王子エフテックス滋賀工場 6FM (2013年4月営業生産開始)

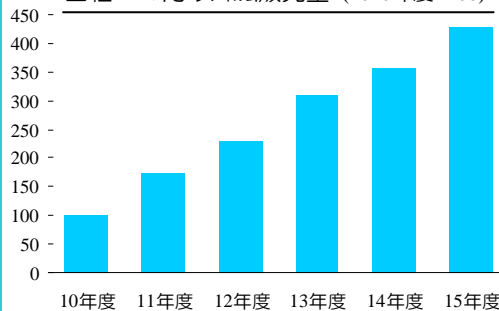
薄物フィルム専用マシン
 (2 μ m~6 μ m)

ハイブリッド自動車(HEV)向けを
 中心としたコンデンサフィルム



6FMリール

当社HEV向けフィルム販売量 (2010年度=100)



<今後の取り組み>
 さらなる性能の向上
 ・高耐熱性
 ・高耐電圧性
 ・長期耐用性

[セルロースナノファイバー]

木質由来の植物繊維をナノレベルに解きほぐしたもの

<特徴>・透明 ・熱変化に伴う伸縮が少ない ・弾性率が高い

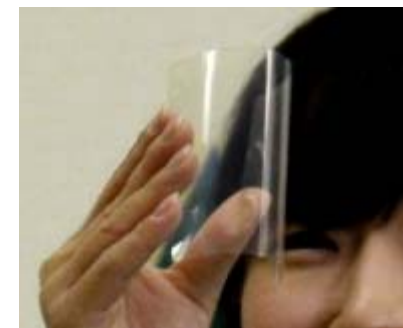
王子グループでは繊維径約4nmの超極細繊維の利用に成功
 “連続して”シート化できたのは世界初

<今後の取り組み>

サンプル出荷開始 ➡ 他企業と連携し、実用化可能性を探っていく



透明シート



樹脂複合化フィルム

5.事業構造転換の施策④



再生可能エネルギー事業

新バイオマスボイラー

王子マテリア 富士工場
2015年3月稼動予定
売電量：105GWh/年
設備能力：36MW、230t/h

王子製紙 日南工場 **売電専用**
2015年3月稼動予定
売電量：150GWh/年
設備能力：25MW、100t/h
北海道でも設置検討中

水力発電設備増強

千歳・尻別発電所
2015年11月完成予定
効率アップ率：尻別14%
千歳 4%

王子エフテックス
東海工場、中津工場でも
増強&売電量増加を検討中



千歳第4発電所

太陽光パネル設置

北海道白糠町（チップ工場跡地）
2013年8月売電開始予定
売電量：1.4GWh/年

王子コンテナー長野工場
2013年10月売電開始予定
売電量：1.1GWh/年

2012年度売電実績

総売電量：566GWh
（うち水力：105GWh）



売電目標

売上高	売電量
280億円/年	1,100GWh/年

バイオリファイナリー事業

王子製紙 米子工場にてパルプ設備を改造
・2014年3月、溶解パルプの生産開始予定
・フルフラールの事業化検討

<フルフラールの主要用途>
フルフリルアルコールを経て
フラン樹脂※へ加工される

※バイオプラスチックの一種



フルフラール

海外における植林・木材加工事業

[植林事業]

2015年度海外植林面積目標： **30万ha**

（2012年末：29万ha）

[木材加工事業新拠点]

KTH
（2013年稼動予定）
所在国：インドネシア
生産能力：製材：10千m³/年
単板：36千m³/年

OJI-VINAFOR PLYWOOD
（2014年稼動予定）
所在国：ベトナム
事業内容：フロア用合板等の製造販売
生産能力：30千m³/年



KTH植林地

東南アジア・南米を
中心として
森林資源の一層の
活用を図る

2013～2015年度の基本戦略

- ◆事業構造転換投資 1,200億円
 - ◆有利子負債残高を7,000億円に圧縮（2015年度末）
- 金融情勢と投資効果のバランスを見極め、構造転換投資のさらなる拡大を検討

営業利益への貢献度

12年度 発現効果	170億円	13年度 発現効果	67億円
--------------	-------	--------------	------

2013～2015年度の投資バランス

<事業構造転換投資重点項目>

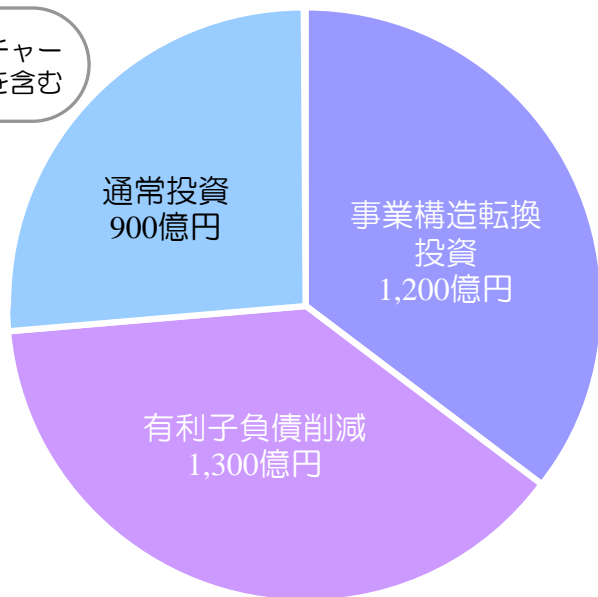
地域：東南アジア・インド・南米

事業：パッケージング事業、植林・木材加工事業、エネルギー事業 等

<通常投資主要項目>

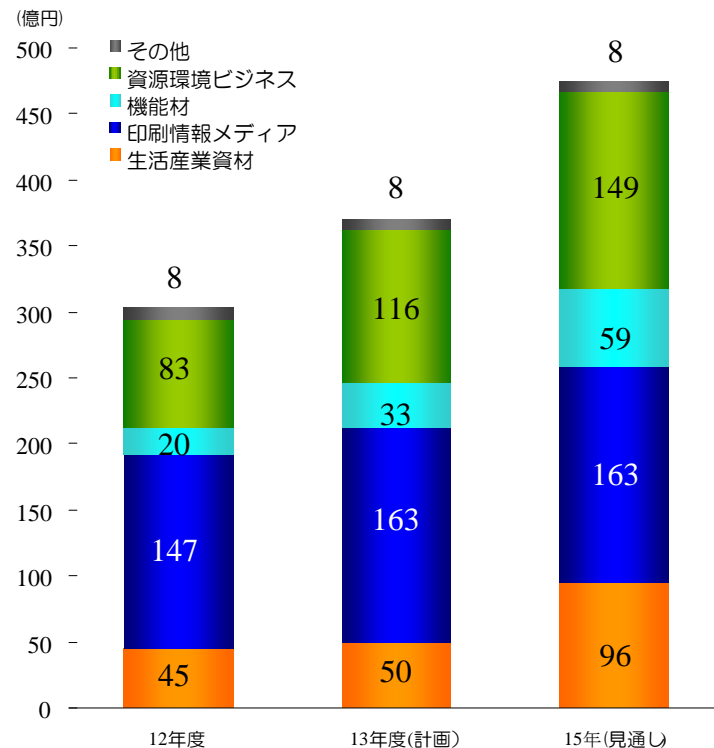
老朽化設備リフレッシュ、コストダウン、環境・安全投資 等

国内事業リストラクチャー
●事業・資産の売却を含む



事業構造転換による営業利益効果（累積ベース）

累積額	303億円	370億円	475億円
〔営業利益に占める比率〕	58%	59%	53%



<事業構造転換完遂のための6施策>

- 徹底したコストダウンによる国際競争力強化
- 海外ビジネスの拡大
- 研究開発型ビジネスの形成による成長
- 資源・環境ビジネスの推進
- 素材・加工一体型ビジネスの確立
- 商事機能強化

経営目標

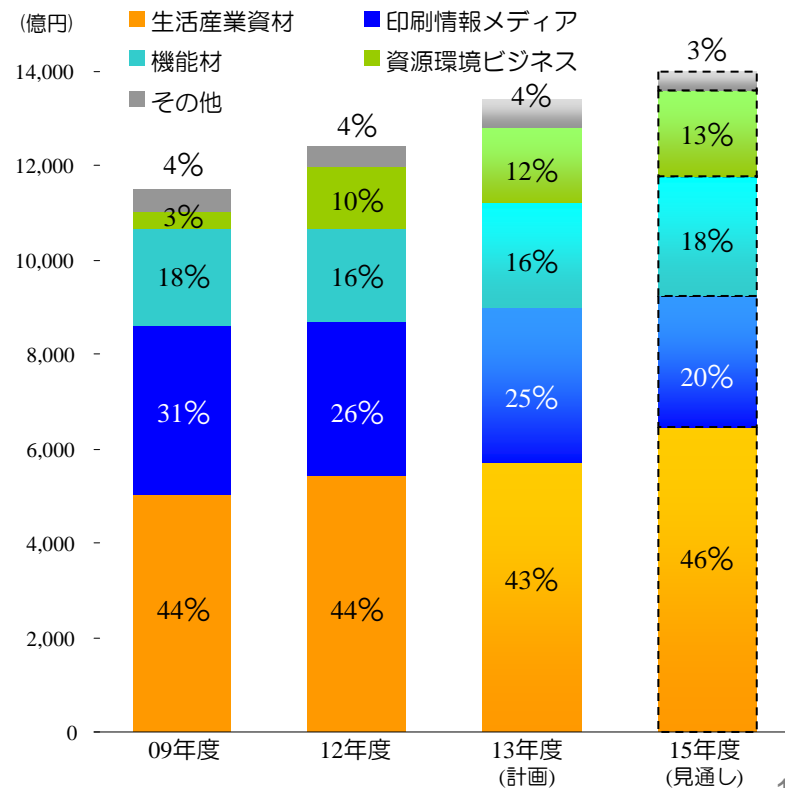
営業利益 : 1,000億円以上

純利益 : 500億円以上

カンパニー別売上高構成比

海外比率 8% 17% 20% 26%

	2012年度 (実績)	2013年度 (計画)	2015年度 (見通し)	2017年度 (目標)
売上高	12,415億円	13,400億円	14,000億円	15,000億円
営業利益	524億円	630億円	900億円	1,000億円
期末有利子負債残高	8,311億円	7,900億円	7,000億円	7,000億円以下
D/Eレシオ	1.4倍	1.3倍	1.2倍	1.0倍
ROE	5.4%	5.8%	7%	8%以上

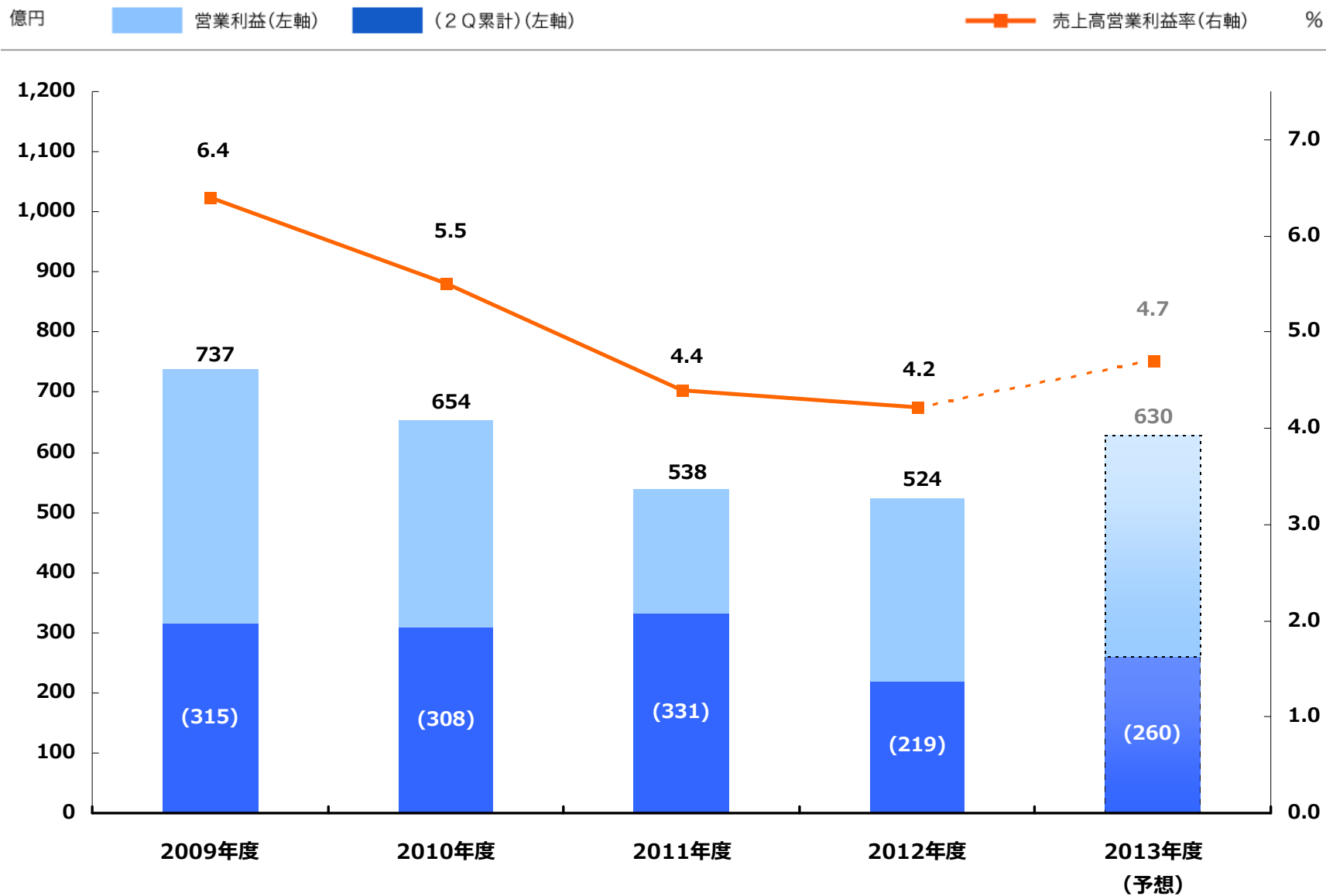


13~15年度 営業利益270億円増 内訳

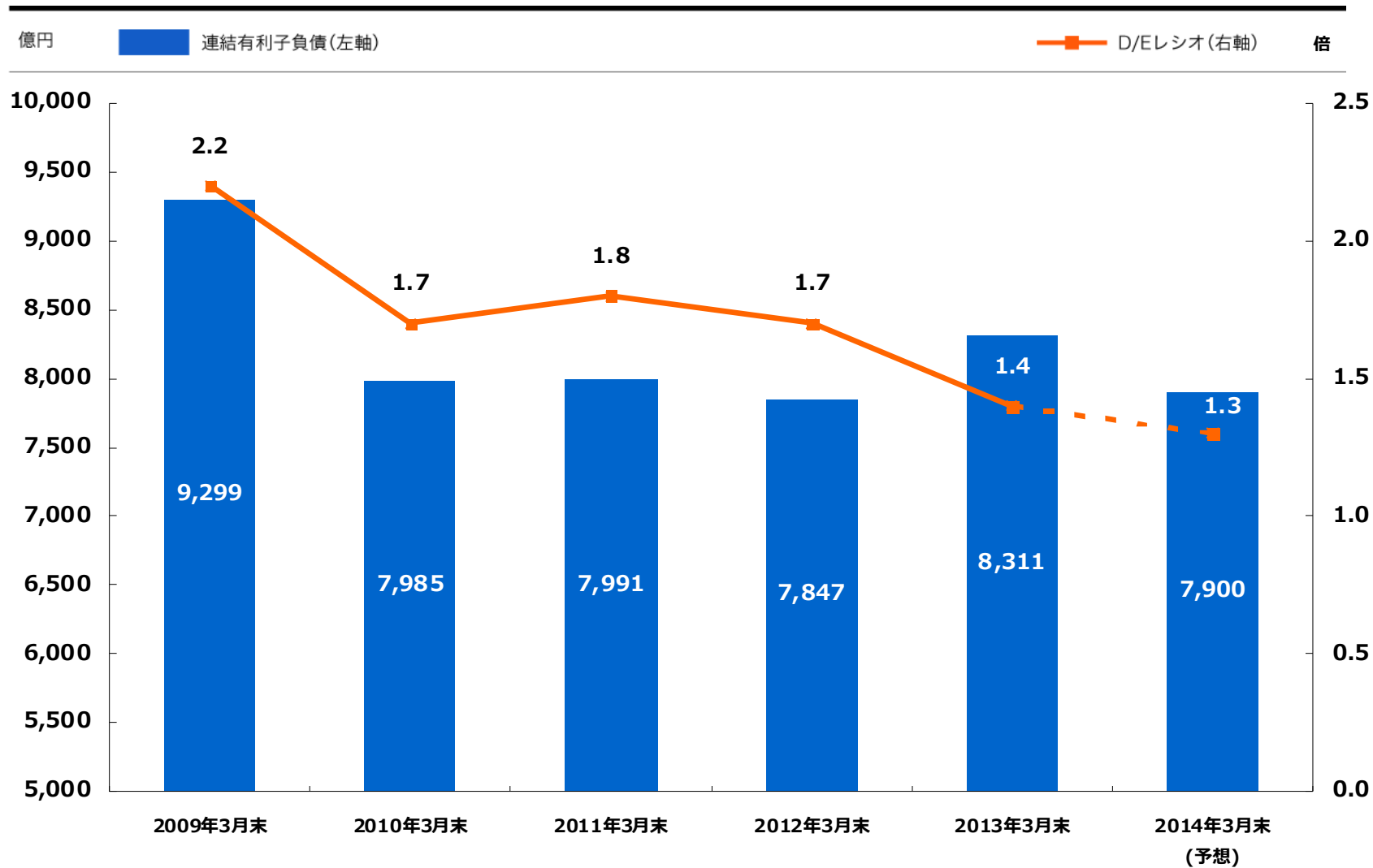
- 事業構造転換投資効果 +100億円
- 需要減・販売価格差他 ▲230億円
- 国内事業リストラクチャー +140億円
- コストダウン +260億円



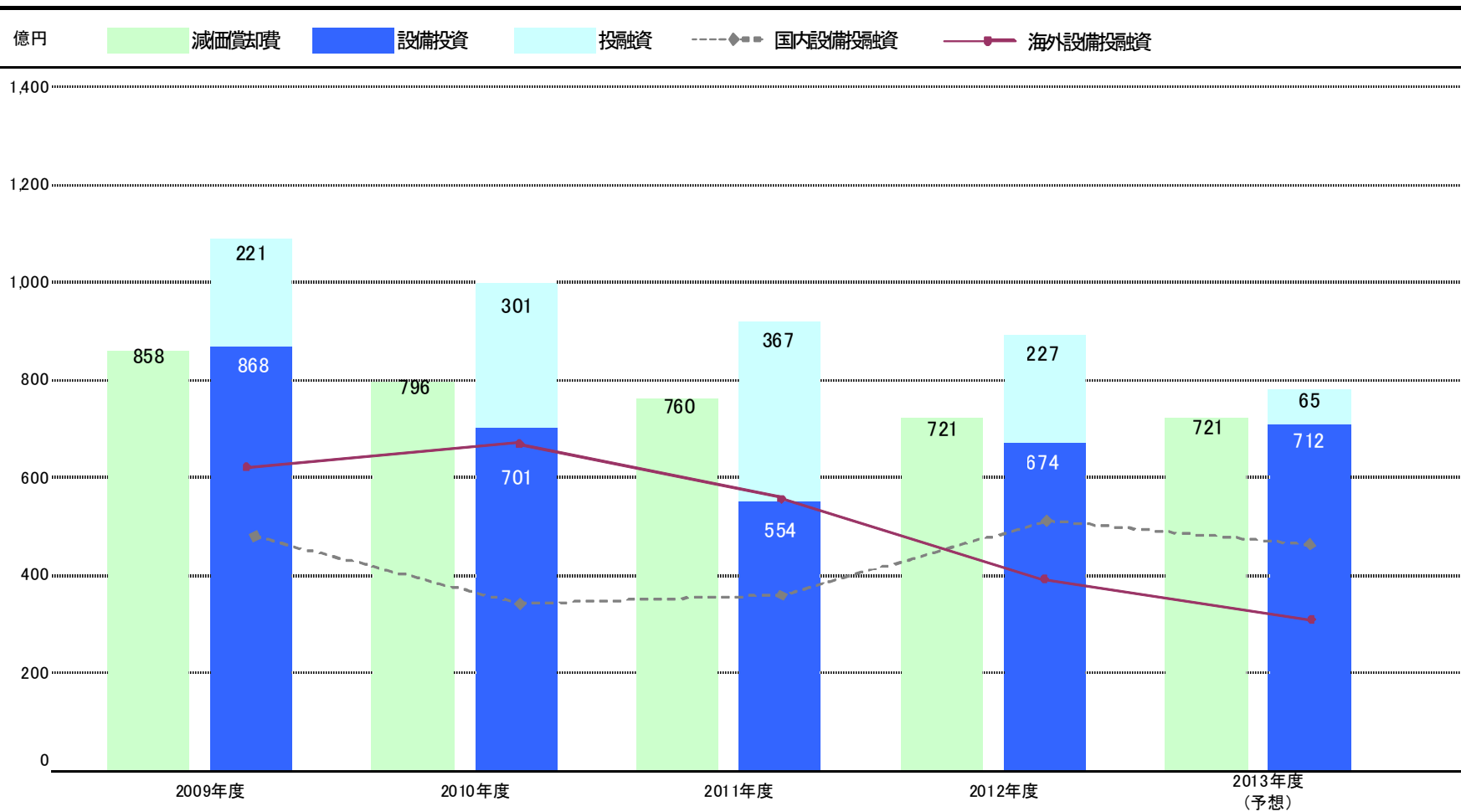
《参考資料》



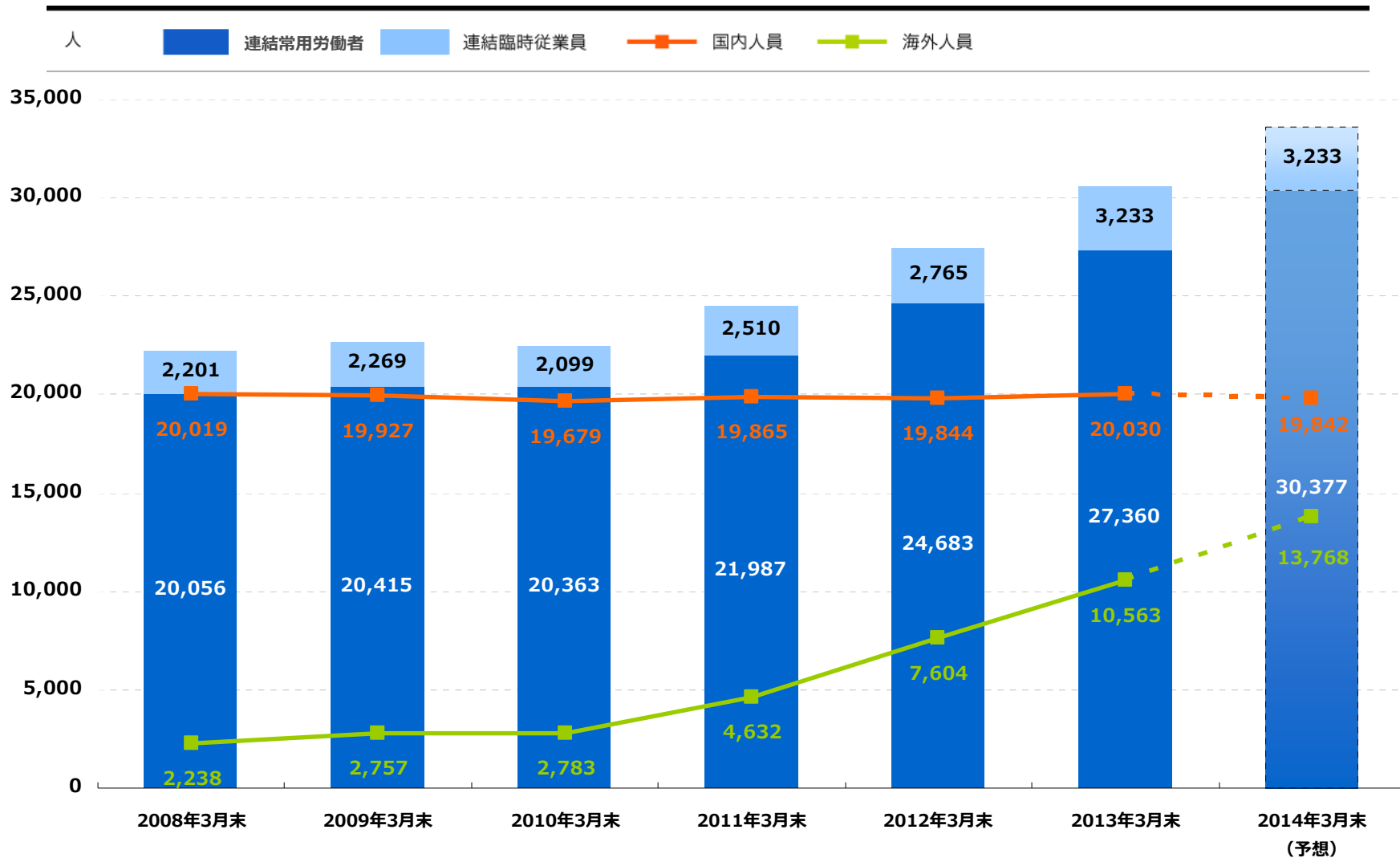
連結有利子負債残高推移



連結設備投融資・減価償却費推移



*一部在外子会社の設備投資額については、親会社の決算期ベースに補正



※国内・海外人員には臨時従業員(年間平均雇用者数)含む



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に掲載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。